

幸まちづくり

平成30年8月1日発行
75号
幸まちづくり協議会
☎ 23-9549



さいわい寺子屋サロン

8月19日(日)に第1回サロンを開催
します。詳細は別紙回覧をご覧ください。



住部会 研修のお知らせ

どんなの??

市議会 & 健康センター「はるる」を
Let's Look!!



10月2日(火) 10:00~15:00(昼食付)

午前...市議会傍聴

午後...健康センター『はるる』の見学
「健康づくり」の講話もあるよ♡



※9月号で参加者募集します。おたのしみに!

HUG (避難所運営ゲーム) に参加してみよう

安全・
防災部会

自然災害により西日本では大きな被害がでて
います。災害が発生した時のことを想定して、
ゲーム的に避難所を開設する行動をシミュレ
ーションしてみようという試みです。室内で皆様
と一緒に考えながら、いざという時の糧になれば
と思っております。

各自治会の幸地区防災隊員と共に皆様のご参
加をお待ちしております。

日時 9月1日(土) 13:00~16:00
場所 幸公民館 2階大会議室
指導者 松阪市防災対策課
松阪市社会福祉協議会
防災ボランティア「春告鳥」



ご不明な点は幸公民館へ問い合わせてください。

グラウンドゴルフ大会開催

7月8日、早朝からグラウンドゴルフ日和、ベ
ルファームの緑の芝生、青空の下、初心者、ベテ
ランも交え、四班に分かれ競技、目的のゲートに
入った時の喜び。

みんなと一緒に競技する中ふつつと健康で
あることの幸せを感じた一日でした。 活部会

通学路にかかるブロック塀等の点検について

小中学校関係者により通学路におけるブロッ
ク塀等の点検を行うこととなりましたので、ご
協力いただきますようお願い申し上げます。

城跡を巡る小さな旅

市内には戦国時代北畠氏が築いた
阿坂城や大河内城の他に、それらを
支える城砦が70余りその多くが標
高100~300mの山頂部にあったと

知って驚きました。

山城会では毎月順次探訪していますが、何処にも
城館の残っていない今では、想像でイメージするし
かありません。しかし、この城跡巡りは北畠と織田
の軍勢が激しく戦ったとされる地を、自分の目で確
かめられる興味尽きない小さな旅でもあります。

泉町 橋爪正二



バトンちゃん

次回走者は
内五曲町の
南崎美穂さんに
お願いします。

「お詫び」と「訂正」

前月号「こんなものみっけ」
寄稿者のお名前に間違いがあり
ました。訂正し謹んでお詫び申し
上げます。

(正) 山城知香 (誤) 山城千香

裏面も
ご覧ください

☆お知らせ☆

- *広報委員会
8月9日(木)
13:30
- *安全・防災部会
8月20日(月)
19:00
- *文化部会
8月23日(木)
13:30

たのしいそろばん 森珠算教室

桜町15-6

☎ 0598-26-2022

お問い合わせください??



Fly to the world!

フルマークス 英語教室

松阪市大黒田町 1832-1

TEL 090-5857-7528 要予約

1対1 のつきっきり個別指導いたします

ABC~博士論文 高校受験全科目
英検 英会話 1対1 で短期間に学力を伸ばそう



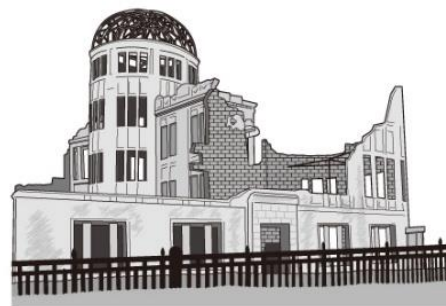
8月15日

第二次世界大戦の終戦記念日に思うこと

終戦は、1945年8月15日。今年で73年が経ちました。
原爆が広島に投下されたのは1945年の8月6日、
長崎に投下されたのは1945年8月9日です。

71歳以下の人は戦争を経験していません。

時が経つにつれ、戦争を経験した人たちは、益々減っていきます、このことをどうとらえたらいいのでしょうか？ 校区の人に聞いてみました。



今から77年前、私は国民学校1年でした。4年生になると担任の男の先生が次々と戦場に行き、校長先生に教えてもらいました。

5年生になると戦争が激しくなり、日本の国が戦場となってきました。もう勉強どころではありません。若い男子だけでなく、お父さんが戦死して祖父母、兄弟で家を守ることが日常の生活でした。

その時の学校の音楽の時間には、ドミソはハホト、ドファラはハヘイ、シレソはロニトと五線紙に書くのです。後で分かったのですが、これは敵機の爆音を聞き分ける訓練だったようです。外国語も禁止されていました。

沖縄のみならず、東京・大阪・名古屋など大都会へ焼夷弾等が落とされたことを、連日ラジオ放送されました。

三重県内も桑名・四日市・津市・伊勢等が空襲にあいました。たくさんの方が無くなり街は焼け野原になりました。焼け出された人は田舎に集団疎開し、学校の運動場はサツマイモ畑となり、教室でわらぼうり作りをしました。2つそろえるのに苦労したのが思い出されます。おとうさんが戦争に行っている家庭に勤労奉仕に出かけたこともありました。

登校する朝から空襲警報のサイレンが鳴り B29 爆撃機が不気味な音を立ててやってくる。戦闘機が低いところまで来て機銃掃射で人を狙ってくる。先生に引率され田んぼに伏せじっとしている。驚き飛び立ったシラサギが打たれている。やっと帰って防空壕に入り、狭い地下で家族が身体を寄せ合って過ごした日を鮮明に思い出します。

生きる為の必需品である衣食住は極度に不足した生活だが「欲しがりません勝つまで」を心に命じがまんしていたころ、8月15日正午、玉音放送により終わったのです。

私たちはこの放送を聞いて生きていたことを実感したのです。

戦争は再度あって欲しくない。平和を宝物に生きることの大切さを後世に語る責任を今感じております。

(寄稿 西林 F・S)